

令和7年度版

千曲市公共施設個別施設計画

文化施設・図書館編



令和7年3月
長野県千曲市

— 目 次 —

1. 計画策定の背景、目的と位置付け	
(1) 計画策定の背景と目的	1
(2) 計画の位置付け	1
2. 計画対象施設、計画期間	
(1) 対象施設	2
(2) 計画期間	2
3. 計画対象施設を取り巻く現状と課題	2
4. 対策の優先順位の考え方と施設評価	3
5. 個別施設の状態等（基礎調査）	
(1) 劣化度・老朽化度調査	4
6. 対策内容と実施時期（実施計画）	
(1) 再配置に関する基本方針	4
(2) 保全に関する基本方針	4
(3) 工程表	5
(4) 対策費用	5
7. 今後の対応方針と本計画の実現に向けて	
(1) フォローアップ及び実施体制	6
(2) 改訂に関する考え方	6

1. 計画策定の背景、目的と位置付け

(1) 計画策定の背景と目的

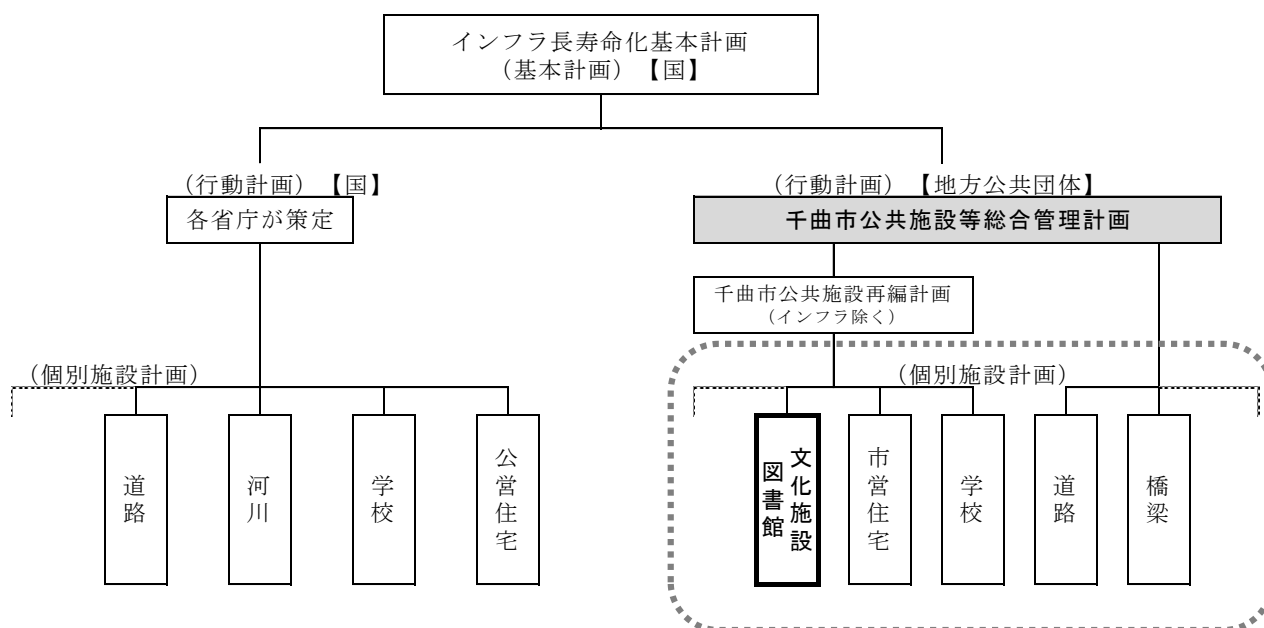
公共施設等の長寿命化対策については、平成 25 年 11 月に国において「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、平成 26 年 4 月に地方公共団体においても公共施設等総合管理計画を策定するよう求められました。

本市においても、公共施設等の総合的かつ計画的な施設の維持管理を進めるうえでの基本的な方針として「千曲市公共施設等総合管理計画」を平成 28 年 3 月に策定しました。

「千曲市公共施設個別施設計画 文化施設・図書館編」は、「千曲市公共施設等総合管理計画」の基本方針に基づき、個別施設ごとの維持管理・更新等の対策の内容や実施時期などをまとめた計画として策定するものです。

(2) 計画の位置付け

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」を踏まえ、本市における公共施設の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針として策定した「千曲市公共施設等総合管理計画」を最上位計画とし、総合管理計画と本計画とを橋渡しする「千曲市公共施設再編計画」を上位計画とします。



2. 計画対象施設、計画期間

(1) 対象施設

本計画は、本市が所有する公共施設のうち、以下の文化施設・図書館を対象とします。

No.	施設名		建築年月	経過 年数	耐用 年数	主構造	延床面積 (㎡)	備考
1	更埴文化会館		H2(1990).3	35 年	41 年	R C	5,626.26	
2	上山田文化会館		S55(1980).3	45 年	41 年	R C	5,006.30	上山田公民館との複合施設
3	戸倉創造館		H5(1993).3	32 年	41 年	R C	4,316.26	戸倉公民館・戸倉図書館との複合施設
4	更埴図書館	既存部分	S55(1980).3	45 年	50 年	R C	717.52	
		増築部分	H2(1990).3	35 年	50 年	R C	255.86	

※経過年数…令和 7 年 4 月 1 日現在

※耐用年数…「資産評価及び固定資産台帳整備の手引き(平成 26 年 9 月 30 日 総務省事務連絡)別紙 3」及び「減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和 40 年大蔵省令第 15 号)」により設定

※主たる構造…R C：鉄筋コンクリート造



(2) 計画期間

本計画の期間は、令和 3(2021)年 4 月から令和 13(2031)年 3 月までの 10 年間とします。

3. 計画対象施設を取り巻く現状と課題

【更埴文化会館】

通常、利用人数は年間 90,000 人から 100,000 人程度。大ホールの客席数 760 席は利用者にとって使いやすい規模であり、交通の利便性も良い立地条件でもあり多くの方に利用されています。

令和元年東日本台風による被害のため令和 4 年 1 月まで災害復旧工事を行い、令和 4 年 4 月から再開館いたしました。

更埴文化会館は更埴図書館と一の建物となっており、インナーコリドーなどは誰でも利用可能

な部分となっています。更埴文化会館の大ホール、小ホール、他会議室等の利用頻度は高く、また、更埴図書館は常に利用者がいる施設になります。冷暖房等空調設備、トイレを含む給排水施設は常時使用されています。

【上山田文化会館】

上山田公民館との複合施設であり、ホールの利用者以外でも会議室を含め年間を通して利用者の多い施設です。

大ホールの客席数が 950 席と市内で一番の規模を有しています。年間の利用人数は 25,000 人から 30,000 人程度。近年施設の老朽化が目立ってきていること、駐車場が小さい等運営に苦慮する面があります。

【戸倉創造館】

戸倉公民館、戸倉図書館を含む複合施設であり、ホールの利用者以外でも会議室を含め年間を通して利用者の多い施設です。

【更埴図書館】

更埴文化会館と建物を一にしており、年間を通して利用者の多い施設となっています。

各施設共に老朽化が進み、修繕箇所が多くなっています。設備を更新する時期も迫っており、多くの改修が必要となっています。

各施設の利用状況

施設名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
更埴文化会館	105,255 人	96,959 人	93,557 人	92,659 人	44,567 人
上山田文化会館	27,123 人	27,992 人	26,458 人	30,290 人	38,912 人
戸倉創造館	46,648 人	44,396 人	47,852 人	53,241 人	50,632 人
更埴図書館	46,267 人	43,839 人	42,777 人	43,906 人	33,964 人

※更埴文化会館は令和元年東日本台風被害のため令和元年 10 月 13 日より休館

4. 対策の優先順位の考え方と施設評価

利用者の安全面を最優先に考え、建物の経過年数、利用状況等から建物の劣化状況を調査するとともに定期点検を実施し、不具合や危険箇所の早期発見に努め、適切な維持管理を実施していきます。

5. 個別施設の状態等（基礎調査）

（１）劣化度・老朽化度調査

施設状況の的確な把握、改修等の時期を検討するため、目視による劣化状況調査を実施し、各施設の劣化状況を評価しました。

施 設 名	劣化状況の評価						劣化度
	屋根	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	所見・特記事項等	
更埴文化会館	C	B	B	C	C	耐用年数が切れている設備等の更新が必要	C
上山田文化会館	C	C	C	C	C	耐用年数が切れている設備等の更新が必要	C
戸倉創造館	B	C	B	C	C	外壁損傷による雨漏りが深刻	C
更埴図書館	C	C	C	C	C	書架等の耐震化・サッシ類の更新が必要	C

※劣化度＝良好 A → 劣化 C

6. 対策内容と実施時期（実施計画）

（１）再配置に関する基本方針

利用人数等偏りはあるものの複数の施設、利用形態がある複合施設であり、いずれも規模の大きい施設であり、地域の活性化の拠点となるよう、人が集まり、賑わいが創出されるような方策を検討していくことにより、積極的な活用を図っていくことが考えられます。

公共施設再編計画では、文化施設は「機能が重複している施設は、利用状況や維持管理費、施設・設備の状態を考慮して総量縮減を図る」とされています。

今後の利用状況の推移や老朽化による施設の劣化状況を踏まえながら、それぞれの文化施設の役割や在り方を確認し、機能の複合化も含めた統廃合に向けた検討を進めてまいります。

（２）保全に関する基本方針

施設の長寿命化改修、修繕等を計画的に実施していくことで、劣化等の進行を遅らせるとともに安全性等にも配慮しつつ、長寿命化を図ります。

更埴文化会館は令和元年東日本台風被害からの復旧工事により地階に配置されている設備が更新されましたが、1階・2階の設備や屋根や外壁等も劣化が進んでいます。建設から既に30年以上経過しておりますが、令和6年度には、不具合が判明したスプリンクラー等を含めた消防設備及び大ホール特定天井の耐震化を始め、老朽化が目立つ屋根及び外壁等の改修工事も併せて進めた他、照明のLED化を行いました。今後は緊急性の高いところから計画的に修繕や工事をすすめてまいります。

上山田文化会館は、建築から既に40年以上経過しており、外壁、屋根、設備等の老朽化が進行しています。今後は適宜修繕等を行いながら、必要な機能を可能な限り維持してまいります。

戸倉創造館は、建築から31年を経過し、建物外壁や屋根、機械設備、電気設備の劣化が進んでいます。緊急性の高いところから計画的に修繕や工事を進めてまいります。

更埴図書館は、建築から既に40年以上経過し、内装や設備の老朽化が進行しているため、図書館としての機能を保持するために老朽箇所の調査を行い、可能な限り長寿命化を図ります。

(3) 工程表

施設名	建築 年度	耐用 年数	計画期間(年度) 上段:対策内容 下段:対策費用 (単位:千円)										対策費 用合計	対策により期 待される効果
	経過 年数	目標使 用年数	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030		
更埴文化会館	H元	41	改修・ 実施設計	実施 設計	実施 設計	改修	文化施設の在り方を検討							目標使用年数ま での機能維持
	35	80	39,127	6,600	19,525	599,830							665,082	
上山田文化会館	S54	41				改修 実施設計	文化施設の在り方を検討							目標使用年数ま での機能維持
	45	80				11,419							11,419	
戸倉創造館	H4	41	修繕		調査・ 修繕	設備改 修・実施 設計	設備改修 文化施設の在 り方を検討	文化施設の在り方を検討						目標使用年数ま での機能維持
	32	80	1,375		12,312	11,059	64,995						89,741	
更埴図書館	S54	50			調査		アスベスト 調査	改修	修繕	修繕				目標使用年数ま での機能維持
	45	80			872		300	6,000	3,000	750			10,922	
対策費用合計			40,502	6,600	32,709	622,308	65,295	6,000	3,000	750	0	0	777,164	

※令和3年度(2021年度)から令和5年度(2023年度)は決算額、令和6年度(2024年度)は決算見込額、令和7年度(2025年度)は予算額、令和8年度(2026年度)以降は計画(概算)額

(4) 対策費用 (R3～R5:決算額、R6:決算見込額、R7:当初予算額、R8以降:概算額)

【更埴文化会館】

R3(2021)年度: 39,127 千円 受変電設備改修工事実施設計 (462 千円) /
受変電設備改修工事 (34,650 千円) /
受変電設備改修工事監理業務 (429 千円) /
排煙設備改修工事 (3,586 千円)

R4(2022)年度: 6,600 千円 スプリンクラー・特定天井改修工事基本・実施設計

R5(2023)年度: 19,525 千円 スプリンクラー・特定天井改修工事基本・実施設計 (15,400 千円) / 屋根外壁改修工事実施設計 (4,125 千円)

R6(2024)年度: 599,830 千円 スプリンクラー・特定天井改修工事 (401,390 千円) /
屋根・外壁改修工事 (198,440 千円)

【上山田文化会館】

R6(2024)年度: 11,419 千円 ホールトイレ改修工事 (10,527 千円) /
非常用発電機更新工事実施設計 (446 千円) /
GHP更新工事実施設計 (446 千円)

【戸倉創造館】

R3(2021)年度: 1,375 千円 屋根及び外壁修繕

R5(2023)年度: 12,312 千円 直流電源装置購入事業 (9,218 千円) /
舞台機構設備修繕 (2,200 千円) / 照明設備修繕 (894 千円)

R6(2024)年度: 11,059 千円 冷温水発生機更新工事実施設計 (2,459 千円) /
電気設備更新工事① (6,820 千円) /
空調設備修繕 (1,780 千円)

R7(2025)年度: 64,995 千円 冷温水発生機更新工事 (47,630 千円) /
冷温水発生機更新工事監理 (2,365 千円) /
舞台機構設備更新工事 (15,000 千円)

【更埴図書館】

R5(2023)年度：872 千円 漏電調査（11 千円）/設備修繕（861 千円）
R7(2025)年度：300 千円 アスベスト調査
R8(2026)年度：6,000 千円 トイレ床工事
R9(2027)年度：3,000 千円 書架転倒防止作業委託
R10(2028)年度：750 千円 多目的トイレ自動ドア修繕

7. 今後の対応方針と本計画の実現に向けて

（１）フォローアップ及び実施体制

本計画の進行管理は、所管課である文化課、生涯学習課が行います。

文化課は更埴文化会館、上山田文化会館の劣化状況及び利用状況等を把握することにより、また、生涯学習課は戸倉創造館、更埴図書館の劣化状況及び利用者状況等を把握することにより施設の保全に関する本計画の進行を図っていきます。

（２）改訂に関する考え方

各施設の劣化状況や今後の定期的な点検結果及び利用者の状況等に応じ、見直しを行っていくほか、上位計画である「千曲市公共施設等総合管理計画」との整合性を図りつつ、国の動向及び社会情勢等の変化を把握しながら５年ごとに見直しを行います。更に工程表は、計画の実現性を高めるため、毎年度ローリングします。

毎年度の取組状況は、千曲市公共施設等総合管理計画推進本部において点検し、議会へ報告するとともにホームページ等で公表します。

千曲市公共施設個別施設計画

文化施設・図書館編

令和3年3月策定（毎年度更新）

千曲市総務部財政課

〒387-8511 長野県千曲市杭瀬下二丁目1番地

TEL 026-273-1111(代) FAX 026-273-1004

E-mail : zaiseika@city.chikuma.lg.jp

（本計画を策定した課・施設所管課）

千曲市教育委員会 文化課